

連合岩手東北地域協議会2025春闘総括会議

6月20日18時半から二戸広域物産観光センター会議室で開催した2025年度の春闘総括会議には11組織の方々が参加しました。

連合岩手の今野副事務局長から連合岩手の春闘中間報告いただいた後に、地場交渉している5労組から春闘結果と課題についてご報告をいただき情報の共有をはかりました。

3月に労働組合を結成した山根林産労働組合の大久保委員長も久慈市から参加しました。



連合岩手
今野副事務局長



東京銀座ファッション
ユニオン
角田委員長



PJニ戸フーズ
労働組合
古館書記長

連合岩手の中間報告では、加重平均15,336円となり、前年同期比で昨年を460円下回ったものの、賃上げ率では連合本部の全体集計を0.08ポイント上回り5.34%となっています。

地場・中小組合（300人未満）では、全体で13,617円（賃上げ率5.32%）、99人以下では11,085円（賃上げ率4.58%）、100人～299人では14,198円（賃上げ率5.49%）となり、300人未満では昨年を上回っています。

パート・有期・契約等労働者では正規労働者全体と比較すると賃上げ率で0.71%上回り、前年同期比で2.11円上回っています。

東北地域の総括会議でご報告をいただいた組合では、昨年を下回った組合や高いレベルでペアを勝ち取った組合など、業種業態による違いが見えましたが、東北地域の中では高い結果でした。他には年間休日数を1日～4日増加させた組合があります。



山根林産
労働組合
大久保委員長



オールユニバース
ユニオン
鳴海書記長



ベルジョイス
ユニオン
日影委員長

第2連合の森植樹へ参加

6月7日に滝沢市の春子谷内湿原付近の第2連合の森植樹に東北地域協議会から5名の方々が参加しました。

